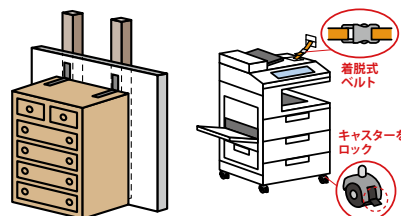


！ 日頃からの備え

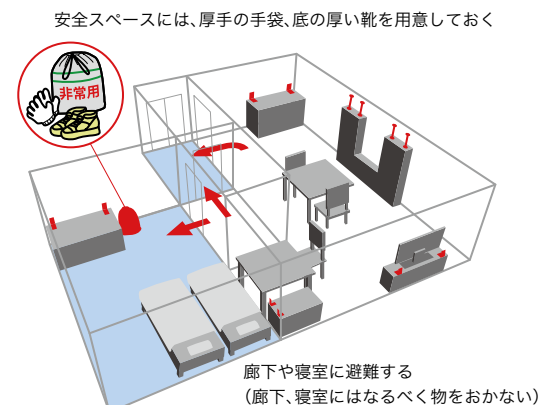
① 「安全スペース」を作っておきましょう

地震の揺れに備えて、寝室や居間など室内のよくいるところに“物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない”スペースを作っておきましょう

- 家具類が倒れたり移動したりする場合に備えて、家具類の固定をしましょう。
- 万が一、倒れたり移動したりしてしまった場合に備えて、家具類の配置に気をつけましょう



参照：東京消防庁「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」



安全スペースには、厚手の手袋、底の厚い靴を用意しておく

廊下や寝室に避難する
(廊下、寝室にはなるべく物をおかない)

安全スペースのイメージ(共同住宅の例)

② 毎年訓練に参加しましょう

6月及び11月5日(津波防災の日)前後に緊急地震速報の訓練を実施しています。訓練を行うための動画やスマートフォンのアプリ*もありますので、これらの機会やお住いの自治体が行う訓練に参加して、定期的に地震から身を守るための対応行動を身につけておきましょう。

*緊急地震速報訓練を実施するための映像・教材など(気象庁ホームページ)▶



効果的な防災訓練と防災啓発(シェイクアウト)提唱会議 <http://www.shakeout.jp>

！ 緊急地震速報の入手方法



緊急地震速報には警報と予報があり、予報はスマホのアプリや受信端末等で入手できます。詳しくはこちら▶

*気象庁が、国民のみなさまに受信端末の設置を義務づけたり、直接設置に伺ったりすることはありません！



！ ご利用にあたって

- ◎震源に近い地域では、緊急地震速報の発表が強い揺れに間に合わないことがあります。
- ◎緊急地震速報で予想する震度や長周期地震動階級は±1階級程度の誤差を伴います。震源が観測点から遠い場合や深い場合は、誤差が大きくなる場合があります。

詳しくはこちら▶



●緊急地震速報は、公益財団法人鉄道総合技術研究所と気象庁による共同技術開発と、国立研究開発法人防災科学技術研究所による技術開発の成果により可能となりました

【お問い合わせ先】
気象庁
 〒105-8431 東京都港区虎ノ門3-6-9
 電話：03-6758-3900(代表) FAX：03-3584-8644(耳の不自由な方向け)
 気象庁ホームページ：https://www.jma.go.jp/
 緊急地震速報について：https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/index.html

詳しくは

緊急地震速報について

新しい

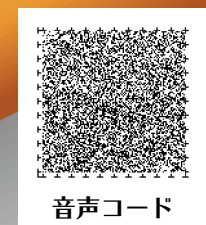
緊急地震速報

長周期地震動階級の予想も追加して発表



！ 緊急地震速報を見聞きしたら？
 どんな時に発表される？
 事前にやっておくべきことは？

詳しくは次ページへ



気象庁

周囲の状況に応じて

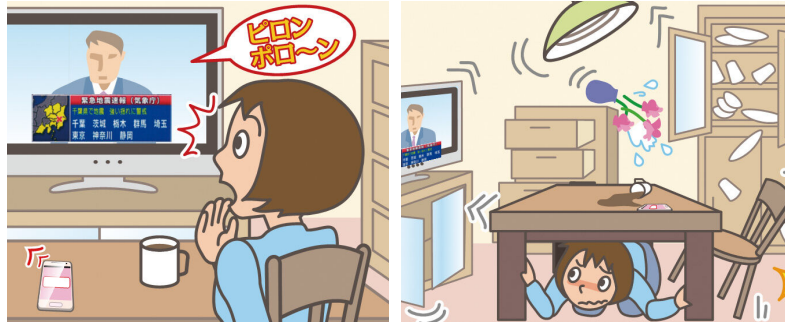
あわてず、 まず身の安全を!!

緊急地震速報を見聞きしたら...
(地震の揺れを感じなくても)

地震の揺れを感じたら...
(緊急地震速報がなくても)

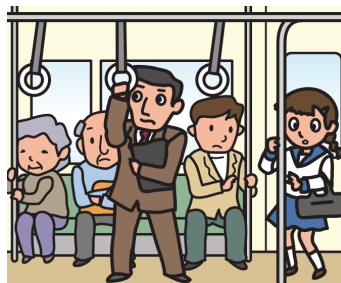
家庭では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- むりに火を消そうとしない



鉄道・バスでは

- つり革、手すりにしっかりつかまる



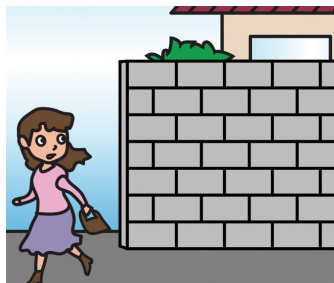
エレベーターでは

- 最寄りの階に停止させ、すぐにおりる



屋外(街)では

- ブロック塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意



自動車運転中は

- 急ブレーキはかけずゆるやかに速度をおとす
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす



上記のほか、訪れた施設等において緊急地震速報を見聞きした時は、身を守り、係員の指示に従ってください。

緊急地震速報の「警報」と「予報」

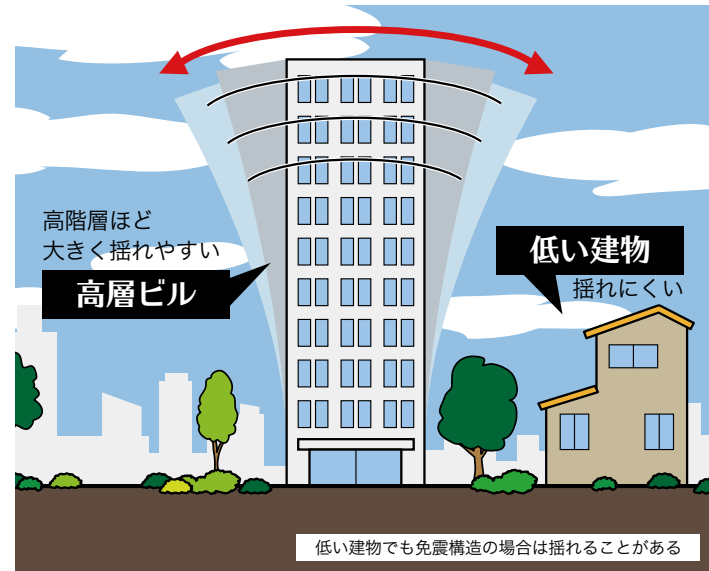
	警報	予報
発表基準	震度5弱以上を予想 または 長周期地震動階級3以上を予想 (震度4以上を予想した地域 または 長周期地震動階級3以上を予想した地域に発表)	マグニチュード3.5以上を推定 震度3以上を予想 または 長周期地震動階級1以上を予想
主な対象	広く一般向け: 人が強い揺れから身を守るために活用	高度利用者向け: 主に列車や機器の制御などに活用

※長周期地震動階級の追加は2023年2月1日

猶予時間が限られることから、緊急地震速報を見聞きしたらまずは身を守る行動をとり、揺れが収まるまで行動を続けましょう。
長周期地震動階級の基準だけで発表することはまれですが、人命に係る重大な災害が起こるおそれがあるため、発表の基準に追加しています。
ガタガタという強い揺れ(大きな震度)でも、ゆらゆらというゆっくりとした大きな揺れ(長周期地震動)でもとるべき行動に違いはありません。

長周期地震動ってなに?

大きな地震で生じる周期の長いゆっくりとした大きな揺れを長周期地震動といいます。
震源から遠く離れたところ(数百km以上)でも、高層ビルを長時間にわたって大きく揺らすことがあります。



階級	揺れの状況
4	● 立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。 ● キャスター付き家具等が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。
3	● 立っていることが困難になる。 ● キャスター付き家具等が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
2	● 室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。 ● キャスター付き家具等がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。
1	● 室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。 ● ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。



2011年東北地方太平洋沖地震のときの東京都内のビルの室内の様子(工学院大学提供)

どんなことが起こるの?

- 高いビルでは、長周期地震動による大きな揺れにより、家具類が倒れたり・落ちたり・移動したりします。
- 天井の落下、スプリンクラーの故障、エレベーターの障害などが過去の地震で実際におきています。
- 2011年の東北地方太平洋沖地震のときには、地震の発生場所から遠く離れた東京でも高いビルが大きく揺れ、被害が発生しました。